



Audio Engineering in the New Century

新世紀のオーディオエンジニアリング



AES東京コンベンション2003

主催：AES日本支部 会場：科学技術館

会期

2003年 7月7日(月)～9日(水) AM 9:00～PM 6:00
(機器展示はAM 10:00～となります。最終日はPM 5:00終了)

ごあいさつ

1952年に創立したAES日本支部では、1985年以降、AES東京コンベンションを隔年で開催してきました。AES東京コンベンション2003は、「新世紀のオーディオエンジニアリング」をメインテーマに、技術発表、ワークショップ、プロダクトセミナー、機器展示など、これまでにない多彩で豊富な企画により、新世紀に相応しい魅力あるコンベンションを目指します。

デジタル放送、ネットワークオーディオ、新しいオーディオ記録再生メディアなど、オーディオ業界もデジタル技術によって大きく変革しようとしています。そして、マルチチャンネルオーディオやハイレゾリューションオーディオに代表されるように、オーディオコンテンツ制作に新しい創造と表現の可能性をもたらす最先端技術も身近なものになってきました。

このようなオーディオ関連の最先端技術を網羅した本コンベンションにぜひご参加いただき、新世紀におけるオーディオエンジニアリングの方向性と将来性をご高覧いただければ幸いです。

最後になりましたが、本コンベンションの開催に向けてご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。
実行委員長 濱崎公男

AES東京コンベンション2003(AES 11th Regional Convention Tokyo) 実行委員会

実行委員長 濱崎公男 (日本放送協会)	テクニカルツアー委員長 深田 晃 (日本放送協会)
実行副委員長 鈴木弘明 (日本ビクター株式会社)	パンケット委員長 朝倉 昭 (品川無線株式会社)
プログラム委員長 小谷野進司 (パイオニア株式会社)	ファシリティー委員長 千葉精一 (キングレコード株式会社)
ワークショップ委員長 亀川 徹 (東京芸術大学)	広報・本部連絡委員長 相馬喜三
展示委員長 中沖忠彦 (パイオニア株式会社)	事務局 長 中原雅考 (株式会社ソナ)

AES東京コンベンション2003事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-5-10 久我ビル2F (株) ステージサイド内

TEL 03-5275-8373 FAX 03-5275-8372

E mail convention@aes-japan.org URL http://www.aes-japan.org

コンベンションに関する情報は、上記ホームページでも参照できます。

科学技術館 会場構成

交通アクセス

地下鉄東西線「竹橋」駅下車
1B出口より徒歩7分

地下鉄東西線 半蔵門線
都営新宿線「九段下」駅下車
2出口より徒歩7分

都心環状線外回り「代官町」
内回り「北の丸」出口より
車で7分

田安門、清水門から
お車での進入はできません。

科学技術館

住所：

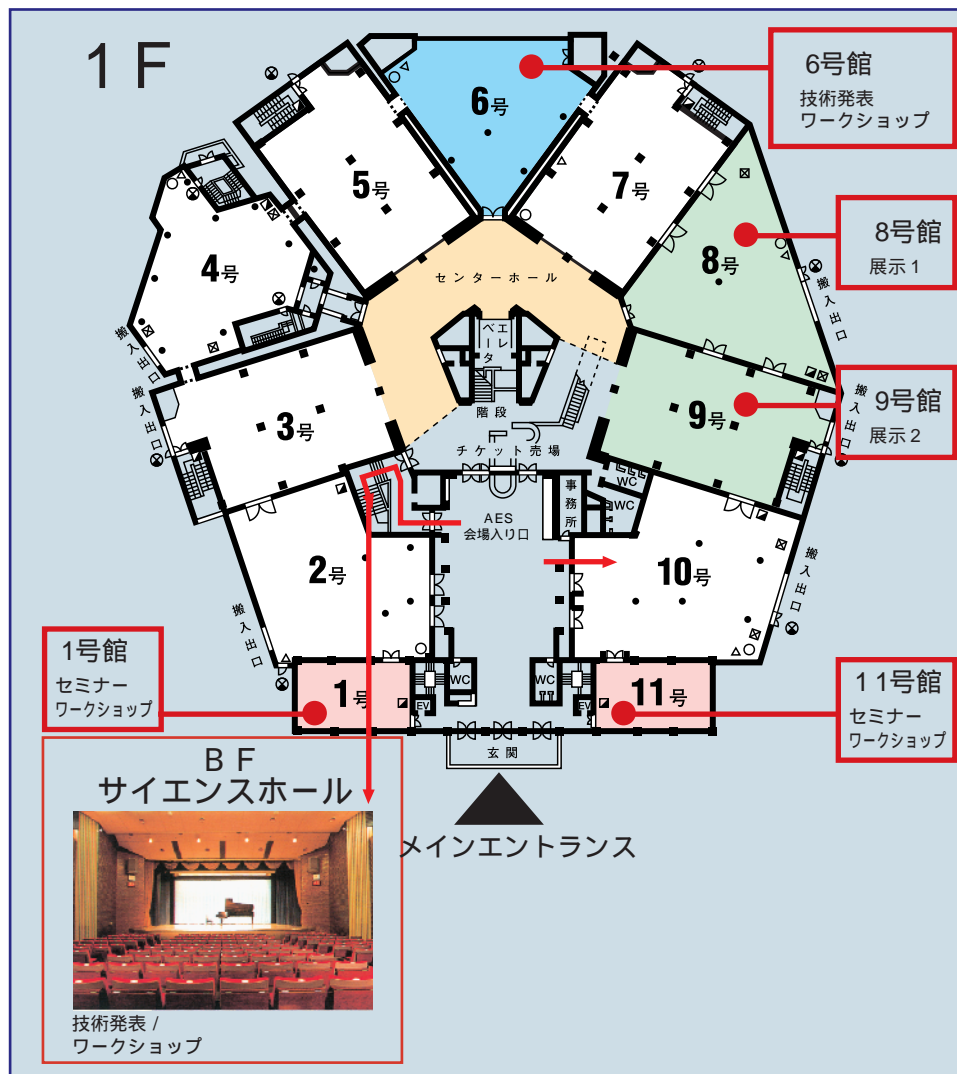
東京都千代田区北の丸公園 2-1

TEL：

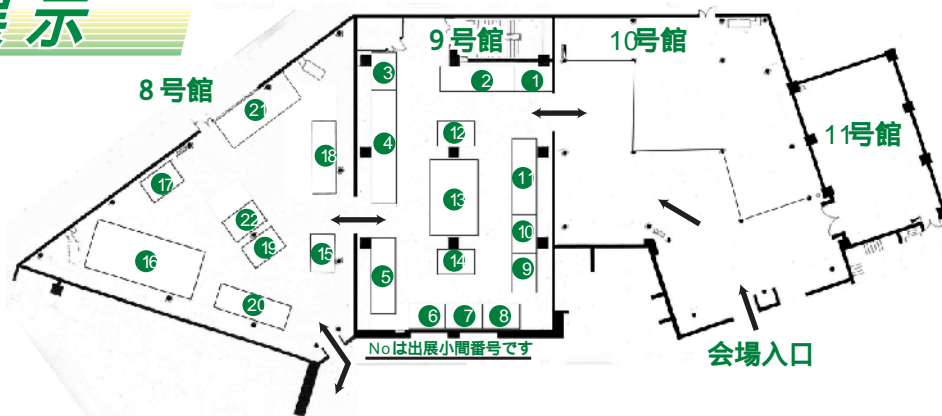
03-3212-3939

開催中問い合わせ

03-3212-8703



機器展示



EX

出展社一覧

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 今井商事 株式会社
MAI & COMPANY, LTD. ② 株式会社 スタインバーグ・ジャパン
STEINBERG JAPAN INC ③ 株式会社 エム・ティ・エス
MTSCO., LTD. ④ 株式会社 東陽テクニカ
TOYO CORP. ⑤ ソニーマーケティング株式会社
SONY MARKETING (JAPAN) INC. ⑥ タックシステム 株式会社
TAC SYSTEM INC. ⑦ エタニ電機 株式会社
ETANI ELECTRONICS CO., LTD | <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 株式会社 ソナ
SONA CORPORATION ⑨ 鹿島、田口製作所
KAJIMA, Taguchi ⑩ 日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社
N HON ELECTRO HARMONIX K.K. ⑪ オタリテック 株式会社
OTARITEC CORP. ⑫ ディーエスピージャパン株式会社
DSP JAPAN LTD. ⑬ ボーズ 株式会社
BOSE KABUSHIKI KAISHA ⑭ 三研マイクロホン 株式会社
SANKEN MICROPHONE CO., LTD | <ul style="list-style-type: none"> ⑮ ソリッドステートロジック・ジャパン 株式会社
SOLID STATE LOGIC JAPAN K.K. ⑯ ヤマハ 株式会社
YAMAHA CORP. ⑰ 株式会社 バラッド
BALLAD CO., LTD ⑱ 日本マランツ
MARANTZ JAPAN, INC. ⑲ ヒビノ 株式会社
HIBINO CORP. ⑳ 株式会社 タイムロード
TIMELOD, LTD ㉑ 株式会社 フェアライトジャパン
Fairlight Japan Inc ㉒ D.T.S
DTS |
|---|--|--|

機器展示概要

1	今井商事株式会社 ショップス(独)マイクロホン関係、カントリーマン(米)、サラウンドマイクシステム、新型プリCMC-6xt(～50kHz)	11	オタリテック株式会社 デジタル卓、MOディスク・レコーダー スピーカーシステム・SACDマスタリング・エディター 他
2	株式会社スタインバーグ・ジャパン Nuendo2.0 メディアプロダクションシステム	12	ディーエスピージャパン株式会社 DAWシステム MERGING社 Pyramix(音声録音/編集機) AV Media社 Vmotion(ノンニア・ビデオ、レコーダー/プレーヤー)
3	株式会社エム・ティ・エス FM送信機器	13	ボーズ株式会社 デジタルオーディオ伝送システム、スピーカーシステム等プロオーディオ機器
4	株式会社東陽テクニカ オーディオアナライザー、オーディメーター、スピーカー測定システム	14	三研マイクロホン株式会社 新製品として、ショットショットガン、超高帯域、角度可変型XYステレオマイク、及びダイナミックマイク用ラインアンプ等を出展致します。
5	ソニーマーケティング株式会社 ソニーブースでは、業界初、世界初のENG用デジタルポータブルミキサーDMX-P01、固有雑音とハンドリングノイズを低減するデュアルダイアフラム構造を搭載した小型ラベリアマイクECM-88、32ビット浮動小数点演算を採用した高音質デジタルミキシングコンソールDMX-R100を展示いたします。ソニー独自のオーディオ技術が使用された製品をご紹介します。	15	ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社 SSLの最新機種 C100デジタルブロードキャストコンソール、C200デジタルプロダクションコンソールのご紹介を致します。
6	タックシステム株式会社 Protocols system/Hard Disk System/Network System	16	ヤマハ株式会社 デジタルミキシングコンソールDM2000/DM1000/02R96.01V96/PM1D、PM5000並びに新製品
7	エタニ電機株式会社 良い音をデジタル信号処理で、種々な音の測定方法と、F特と波面を同時処理可能な、畳み込みによる音の加工技術を示す。	17	株式会社バラッド (独)ムジックエレクトロニクス社—スタジオモニター (米)サウンドデファクツ社—マイクロホン (米)T・H・E社—マイクロホン (米)アルテック・ランシング社—SRスピーカー
8	株式会社ソナ 設計から施工、調整までトータルに音場をクワイエットするソナのスタジオデザインをご紹介します。THX社によるサラウンド・スタジオ設計プログラム「THXpm3」及び、M&K社のプロ・モニタースピーカーをご紹介します。	18	日本マランツ 設備音響用システム、スタジオユースシステム、ホール音響用システム等、他フィールドに渡る、音響を中心としたシステム提案と音源メソッド向けポータブル機器及びPCカードレコーダー等バラエティに富んだ出展をおこなっています。
9	鹿島、田口製作所 OSD(立体音響)システム、PA用スピーカーなど	19	ヒビノ株式会社 インスタント・リプレイ・システムの展示
10	日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社 ●Universal Andio LA-2A;レベリングアンプ、1176LN;ソリッドステートリミッティングアンプ、2-610;ステレオ真空管マイクアンプ、M610;モノ真空管マイクアンプ、2108;デュアルCHマイク&インストリアンプ、6176;マイクアンプリミッティングアンプ ●Antares ATR-1a;オートチューン・イントネーション・プロセッサ、AVP-1;ボークプロデューサー	20	株式会社タイムロード des、Ctenex、CEDAR、Contour
		21	株式会社フェアライトジャパン フェアワークスグループは次世代QDCエンジンを搭載したDREAMシリーズの全製品と新製品QDC MINI、V-motion、FARをドリームデモバスにて出展します。
		22	DTS DTS エンコーダシステム(プロトタイプ) DTS 音声月 DVD-AudioDisc DVDビデオディスク

プロダクトセミナー



月 日 (月)

11号館	14:30~17:30	PD 1 (1) PC-Audio測定 (2) スピーカーの大信号性能の評価 (3) スピーカーコーンの幾何学スティフネスについて 主催：株式会社 東陽テクニカ 講師：高月深治（東陽テクニカ） Dr Wolfgang Kippel（Kippe社） Peter Larsen（Loudsoft社） (1) PCサウンドボードのPC環境の違いによるオーディオ測定の難しさに焦点をあて、AudioAnalyzeを使った新しい自動測定プログラムを提案する。(2) 大信号印加時のスピーカの振舞いは、従来のリニア測定からでは求められない。ノンリニア、温度、時間変動メカニズムを考慮した新しい測定とシミュレーション技法についてKippe社スピーカ測定システムを使って、大信号パラメータの収集と解析を実演する。(3) スピーカーコーンの幾何学形状による固有スティフネスを、Loudsoft社コーン設計支援ソフトウェアを使って分析していく。
1号館	12:00~17:00	PD 2 サウンドミキシングシステムの統合-System5 MAX-AirとNuendoの機能統合加えて、TC System6000の有効性。 主催：株式会社 ユーフォニクスジャパン 講師：富田勲（作曲家） スタインバーグジャパン TCエレクトロニック日本支社 シンセサイザーの巨匠トミタの名を世界的なものとした記念碑的な名作「ザ・プラネッツ」が富田勲自身の手により、高音質のサラウンド・オーディオ作品となって蘇った。単なる迫力や臨場感のためのこれまでのサラウンドとは全く違う、新たなサウンドの秘密を探る。THX社PM3準拠のスピーカーにより5.1サラウンド試聴を行う。（協力：日本コロムビア・ミュージックエンタテインメント）

月 日 (火)

11号館	10:30~11:30	PD 3 Mac OS Xにおけるプロオーディオソリューション 主催：アップルコンピュータ 講師：小西達矢（アップルコンピュータ） プロオーディオソリューションにおけるMac OS Xと最新Macintoshのアドバンテージを解説し、Mac OS X環境から乗り換えるメリットを実感できるセミナー。プロフェッショナルユーザーのMac OS X導入事例なども併せて紹介する。協賛：タックシステム株式会社
	11:30~12:30	PD 4 Pro Tools 6.1及びWavesプラグインによるポストプロダクション 主催：デジデザインジャパン 講師：大野映彦（サウンドエンジニア） 小林稔明（デジデザイン） NAB 2003でアナウンスされた、Pro Tools 6.1 for Mac OS Xで実現するAViSシステムとの相互運用性や新たなオプションの紹介を含め、Pro Tools HDシステムのポストプロダクション向け機能全般を解説。またWavesのプラグインを活用したサラウンド・プロダクションも紹介する。協賛：タックシステム株式会社
	12:30~13:30	PD 5 DAWのバックアップとネットワークについて 主催：タックシステム株式会社 講師：山本隆彦（タックシステム） 近年のDAWの普及によるデータの保存と移動時の媒体及び互換と長期保存のメディア選択を考える。素材管理とデータの保全及び保管方法の効率化とネットワーク化の促進、データ検索の最新の情報を紹介する。
	14:00~15:00	PD 6 ポスプロ向けサラウンドエフェクト開発とモデリング技術 主催：ヤマハ株式会社 講師：高橋昭夫（ヤマハ） 国本利文（ヤマハ） 「ポスプロ向け新規開発サラウンドエフェクト技術」や「モデリングテクノロジーに基づく新規開発エフェクト技術」など、新規開発中のエフェクトアルゴリズムとその技術的バックボーンを商品に先駆けて発表する。
	15:00~16:00	PD 7 DM2000/DM1000を使ったサラウンドモニター・セットアップ実践講座 主催：ヤマハ株式会社 講師：中原雅考（ソナ） サラウンド・プロダクションに必要なとされるスピーカの設置方法、周波数特性、レベル調整、ディレイ補正などを実践しながら解説。実際にDM 2000/DM 1000のサラウンドモニター機能を使いながら、騒音計やRTAを用いて会場にてセットアップを行う実践講座。
	16:00~17:00	PD 8 M&K professional スピーカとサラウンド・モニタリング環境 主催：株式会社 ソナ 講師：上岡慎一（ソナ） サラウンド・モニターとして世界中のトップ・エンジニアから絶大な支持を集めているM&K professional スピーカの特徴と、サラウンド・スピーカの配置方法に関してデモを交えながら説明する。
	17:00~18:00	PD 9 THX pm3 によるサラウンド・スタジオ設計とは？ 主催：株式会社 ソナ 講師：池田篤郎（ソナ） サラウンド・スタジオの音響設計に対してトータル・ソリューションを与えるTHX社のpm3 (Professional Multi-channel Mixing & Monitoring) プログラムの概要を紹介する。
1号館	13:00~18:00	PD 10 スタジオ間での音源素材受け渡しを容易にする AES31規格の実使用例及びデジタルコンソールとDAWとの機動的インテグレーション 主催：株式会社ユーフォニクスジャパン 講師：行方洋一 スタインバーグジャパン (サウンド・スーパーバイザー) TCエレクトロニック日本支社 昨年暮のNHK紅白に出演し、お茶の間にも感動を与えた日本オペラ界から世界へ羽ばたく若手のホープ、ソプラノ歌手 鈴木慶江さんの名歌唱を聞きながら、新技術の提案を聞く。（協力：東芝EM 株式会社）

月 日 (水)

11号館	13:00~14:00	PD 11 高解像度マイクロピエゾ・パネルTVスピーカの市場展開と、業務用モニタースピーカの試聴 主催：パストラルシンフォニー 講師：福田三恭司（パストラルシンフォニー） マイクロピエゾ技術（US,JP特許）によるプラズマ・液晶テレビ用薄型スピーカと、対応する業務用小型モニタースピーカの試聴を行う。実施例として、MAでのマイクロピエゾモニタースピーカの運用実績のあるエンジニア・今村真氏の実践報告を行う。
	14:00~15:00	PD 12 GENELECが考えるベースマネージメント 主催：オタリテック株式会社 講師：溝口匠（オタリテック） 石井久雄（オタリテック） サラウンドモニタリングで推奨されている「ベースマネージメント」についてGENELEC社の考え方を説明する。
	15:00~17:00	PD 13 リアルタイムノイズリダクションとレストレーションシステム 主催：株式会社タイムロード 講師：ゴードン・レイド（CEDAR） CEDAR社より新製品として発表されたリアルタイムノイズリダクションとレストレーションシステム「Cambridge」の機能説明を行なう。
1号館	12:00~17:00	PD 14 Jazz Trioライブ収録後のサラウンドミクスダウンの試み。 主催：株式会社ユーフォニクスジャパン 講師：時枝一博 スタインバーグジャパン (コロムビアミュージックエンタテインメント) TCエレクトロニック日本支社 猪俣猛氏、荒川康男氏、前田憲男氏のトリオによるコンサート「Golden Trib WE3」の銀座・王子ホールでの実況が、コロムビアミュージックエンタテインメントにより3氏のプライベート用ライブ記録として特別にサラウンド収録された。その24ビット96kHz 48trackオリジナル音源を使い、今回特別に公開の許可を頂き、5.1ミクスダウンを試す。（協力協賛：株式会社アール・シー・シー スティックス コロンビアミュージックエンタテインメント株式会社）

チケット構成

	通し券		当日券	ワークショップ券	機器展示券	バンケット参加券	テクニカルツアー
	予約販売	当日販売					
学 生	¥5,000	¥8,000	¥3,000	¥1,500			¥1,000
AES 会 員	¥7,000	¥10,000	¥5,000	¥2,500	¥1,000	¥7,000	¥2,000
一 般	¥17,000	¥21,000	¥10,000	¥4,000			¥3,000
技術発表	PP		(当日のみ)	x	x	x	事前登録を行い、当日会場でお支払い下さい。
ワークショップ	WS		(当日のみ)	(セッションのみ)	x	x	
プロダクトセミナー	PD		(当日のみ)	x	(当日のみ)	x	
展示	EX		(当日のみ)	x	(当日のみ)	x	
教育プログラム	ED		(当日のみ)	x	(当日のみ)	x	
バンケット	BQ	x	x	x	x		
テクニカルツアー	TC	x	x	x	x	x	

当日会場受付にて、AES会員に申し込みいただくと、会員価格で購入になれます。

通し券の予約販売は、同封の申込用葉書にて申してください。

ワークショップ

WS

月曜(月)

S ホール	1230~ 1330	WS1 次世代光ディスク 司会：菊田俊雄(音響専門学校) パネラー：前田武志(日立) 山田尚志(東芝) 青色レーザーを用いた最新の記録メディアの現状と可能性について解説する。
	1230~ 1430	WS2 デジタルシネマ再生における最新音響設備の実際 司会：濱崎公男(NHK) パネラー：浜田純伸(ワンダーステーション) 井口洋(ティ・ジョイ) 佐藤彰洋(ティ・ジョイ) 持丸聡(ポーズ) 栗山譲二(ポーズ) 参加企業：ポーズ デジタルシネマの波が押し寄せつつある今、映画製作現場のデジタル化は再生現場である映画館にも大きな変革をもたらしつつある。本ワークショップでは、映画音声製作から再生まで各分野の専門家の方々とポーズ社の音響技術者が、最新のデジタルシネマ館の音響設備を例にデモを交えながらその実際を解説する。
6 号館	14:40~ 1730	WS3 デジタルコンソール最前線 ~最新デジタルコンソールの全比較~ 司会：内村和嗣(NHK) 参加企業：ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン オタリテック タムラ製作所 フェアライトジャパン 松下電器産業 ヤマハ ユーフォニクスジャパン 現在のデジタルコンソールは大型から中型そしてロケ用小型ミキサーまで各社各様のモデルが市場をにぎわし、独自の技術と価格を競っている戦国時代である。それぞれの製品の技術的特徴と応用例を講演する。
	1200~ 1325	WS4 サラウンド制作の実際(音楽録音編) 司会：内村和嗣(NHK) パネラー：深田晃(NHK) サラウンド制作に必要なテクニックや注意点についてのデモと解説を3日にわたっておこなう。初日は音楽録音におけるサラウンド制作の方法と実際例について解説する。
11 号館	1330~ 1430	WS5 10月開局! デジタルラジオの特長および番組サービスについて プレゼンター：近江克郎(デジタルラジオ推進協会) 小高正行(デジタルラジオ推進協会) 参加団体：社団法人デジタルラジオ推進協会 TVに先駆けて、東京と大阪で今年10月に実用化試験放送を始めるデジタルラジオ。その放送技術方式、メディアとしての特徴、番組サービス案、受信機開発動向まで、地上デジタル音声放送の最新情報を伝える。

月曜(火)

S ホール	900~ 1055	WS6 ハイレゾリューションオーディオの制作環境 司会：深田晃(NHK) パネラー：前田宗泰(ソニー) 森美裕(松下電器産業, DVDフォーラムWG4) 藤田厚生(タイムロード) 2chからマルチチャンネルまで幅広く音楽制作をサポートしているハイレゾリューションオーディオについて、その制作における録音からマスタリングまでの現状について解説する。
	1100~ 1200	WS7 DVD-AR(Audio Recording)規格最新情報 司会：鈴木弘明(ビクター) パネラー：新保正利(松下電器産業) DVDフォーラムWG4 主催：DVDフォーラム オーディオ・ワーキング・グループ WG4 次世代オーディオフォーマットのDVDオーディオの最新情報および、DVDのAudio Recording規格であるDVD-ARについての解説を行う
	1210~ 1340	WS8 ゲームのサラウンドオーディオ 司会：染谷和孝(ソニー-PCL) パネラー：中山尚幸(ドルビー日本支社) 中山敦子(DTSD本オフィス) 中村栄治(Red A.J. Sound) 嶺川千春(スクウェア・エニックス) Dobyやdtsによるゲーム機におけるサラウンド処理技術の解説や、実際のソフト制作におけるサラウンド音響制作手法の解説及びデモを行う。
	1350~ 1550	WS9 サラウンド録音成功の鍵 プレゼンター：デビッド・グリジナー(レキシコン) 参加企業：エレクトロ サラウンド録音を成功させる重要なヒントについて、その技術的ポイントを心理音響と音響物理の両面から具体的に説明する。
11 号館	1600~ 1800	WS10 欧米における最先端のマイクロホン実践テクニック ~基礎からサラウンドまで~ プレゼンター：イヨルグ・ウトケ(ショップス) 参加企業：今井商事 欧米の録音で利用されている様々なマイクロホンテクニックについて、ステレオからサラウンドまで実例を交えながら解説する。日頃エンジニアが経験則で使用するマイクロホンテクニックの技術的背景についても解説する。
	900~ 1025	WS11 サラウンド制作の実際(ボスプロ編) 司会：内村和嗣(NHK) パネラー：染谷和孝(ソニー-PCL) サラウンド制作に必要なテクニックや注意点についてのデモと解説をおこなうセミナー。2日目はボスプロにおける制作手法を解説する。
1 号館	900~ 1025	WS12 BWF規格の現状と課題 司会：中島博和(TBS R&C) パネラー：丸谷正利(JPPA) 他 デジタル音声のデータを世界的にやりとりするためのファイル互換規格について、国内でもBWF規格が進行中である。その技術解説と代表的なファイルでの互換デモを行う。
	1030~ 1230	WS13 マルチチャンネル音楽制作 ~よりサラウンド効果のあるソフトを制作するために~ 司会：山本武夫 パネラー：森本政之(神戸大学) 小宮山撰(NHK) 神山純一(作曲・編曲家) 深田晃(NHK) 濱崎公男(NHK) 高田英男(ビクターエンタテインメント) マルチチャンネル音楽制作の現状と問題点、実際の制作の様子について様々な立場からディスカッションを行う。会場の人々にも議論に参加してもらい、マルチチャンネルの今後について考える場とする。

月曜(水)

S ホール	930~ 1130	WS14 デスクトッププロダクション・ハンズ・オン・セミナー 司会：沢口真生(NHK) パネラー：安川剛(スタインバーグ・ジャパン) 小林稔朗(デジデザイン) 柳瀬智史(ディーエスピージャパン) 山本隆彦(タックシステム) 参加企業：スタインバーグジャパン ディーエスピージャパン デジデザインジャパン 小型軽量のDAW機器の代表機器であるプロツールズ、ヌエンド、ピラミックスの3モデルを例にシステム設計の考え方、技術的特徴、応用例、プラグインエフェクトなどについて解説と実際のデモを行う
	1200~ 1400	WS15 人にやさしい次世代音声放送 司会：辻本廉(NTS) パネラー：中村英嗣(NHK) 他 参加企業：TCエレクトロニクス日本支社 ヤマキ電気 放送の音声レベルに関する様々な課題を背景に、デジタル放送時代、高齢化社会に対応した聞きやすい放送音声実現への取り組みについて解説する。
	1430~ 1630	WS16 HD24Pプロダクション 司会：染谷和孝(ソニー-PCL) パネラー：浅田伸(プログレッシブピクチャーズ) 識佐佳紀(ソニー-PCL) ハイビジョン24P映像制作環境における音声ボスプロの現状を報告、現在の様々な問題点を議論する。
11 号館	900~ 10:25	WS17 サラウンド制作の実際(放送編) 司会：内村和嗣(NHK) パネラー：井上哲(テレビ朝日映像) サラウンド制作に必要なテクニックや注意点についてのデモと解説をおこなうセミナー。最終日は局外中継における制作手法を解説する。
	1030~ 1230	WS18 サラウンド・エンコーディング成功へのアプローチ 司会：中原雅考(ソナ) パネラー：入交英雄(毎日放送) 中山尚幸(ドルビー日本支社) 中山敦子(DTSD本オフィス) 前垣宏親(ヤマハ) Doby AC-3, dts, MPEG-2AACIに関して、5.1マスターからそれぞれのビットストリーム(ファイル)を生成するまでのシステム、制作過程、メタデータの扱い、メタデータの設定による再生音への影響などを解説・デモを実施する。
1 号館	1000~ 1130	WS19 デジタル伝送の最新動向 司会：森川直(松下電器産業) パネラー：五味貞博(松下電器産業) 錦織 琢(ヤマハ) 高橋 茂樹(ヤマハ) 栗林 泰孝(ヤマハ) 現在導入が検討されているデジタルワイヤレスマイク、Ethernet伝送の一つであるCobraNetそしてIEEE1394ベースの高速伝送方式であるmLANについて、解説を行う。

技術発表

PP

7月7日(月)

会場 Sホール

10:40~ 12:10 基調講演 富田勲氏 (作曲家)

「限らないサラウンドにかける夢」

- 「惑星」によるサラウンドデモと講演 -

4チャンネルステレオ時代からサラウンドサウンドを目指した音楽作りに取り組みながら、4チャンネルステレオの崩壊により長年実現し得なかった氏の夢が、マルチチャンネルサラウンドにより現実のものになるうとしています。先頃発表されたDVDオーディオ「惑星」ではマルチチャンネルによる音楽表現の考え方が明確に打ち出され、音楽とオーディオとの関わりに大いなる示唆を与えられました。本講演では、これまでの足跡と将来への展望を語って頂くとともに、この「惑星」の制作を具体例として、素材音を再生しながら、音作りの構成と過程を説明していただきます。そして、サラウンドの効果に対する聴衆の反応についても、30年前と現在を比較しながら話していただきます。

PP1 マルチチャンネル・オーディオ 1 座長 石野和男

時間	タイトル	発表者	所属
14:00~ 14:20	5.1ch サラウンドドキュメンタリーの制作手法	糸林薫	日本放送協会
14:20~ 14:40	NHKスポーツの5.1サラウンド中継	居石浩己	日本放送協会
14:40~ 15:00	プロ野球日本シリーズ5.1chサラウンド生放送の概要 - 西武ライオンズv.読売ジャイアンツ -	井上哲	テレビ朝日映像(株)
15:00~ 15:20	ポップジャム~大阪城ホール5.1サラウンド生放送~	小野良太	日本放送協会

PP2 マルチチャンネル・オーディオ 2 座長 小野一穂

時間	タイトル	発表者	所属
15:25~ 15:45	群遅延から見るマルチチャンネルオーディオの低音再生	細井慎太郎	バイオニア(株)
15:45~ 16:05	5.1サラウンド音声制作対応ダビングスタジオの建築音響設計	織田慎一	日本放送協会
16:05~ 16:25	インドRanaji Film City フィルムサウンドスタジオコンプレックスの設計について	豊島政実	四日市大学 / ADG (英国)
16:25~ 16:45	マルチチャンネル・スタジオのスピーカ配置に関する検討	中原雅考	(株)ソナ / 九州芸術工科大学

7月8日(火)

会場 6号館

PP3 室内音響 1 座長 森本雅記

時間	タイトル	発表者	所属
9:00~ 9:20	音響シミュレーションと多chマイク測定システムを用いた音響調整システムの提案	大澤邦昭	松下電器産業(株)
9:20~ 9:40	障害物による音場の音響インテンシティ測定	山田和幸	芝浦工業大学
9:40~ 10:00	室内の拡散性と音圧分布に関する考察	鈴木久晴	九州芸術工科大学

PP4 室内音響 2 座長 竹内松己

時間	タイトル	発表者	所属
10:05~ 10:25	ミキサーズ・ラボ新マスタリングルームの設計コンセプトと今後のマスタリングについて	菊池功	(株)ミキサーズ・ラボ
10:25~ 10:45	The Room as an Instrument An interactive relaxation and acoustic inspiration space	Jeffrey Jousan	CrossWire
10:45~ 11:05	可児市文化創造センターの舞台音響設備	鈴木伸一	ヤマハサウンドテック(株)

PP5 ハイレゾリューション・オーディオ 1 座長 小泉宣夫

時間	タイトル	発表者	所属
12:00~ 12:20	高サンプリングレート・オーディオ信号のスケラブル・ロスレス符号化	守谷健弘	NTTサイバースペース研究所
12:20~ 12:40	デジタルオーディオ機器におけるサンプリング・ジッターについて	西村明	東京情報大学
12:40~ 13:00	デジタル信号の jitter と高度感性情報の伝達損失との関係 ~ デジタル音質劣化原因解明のための検討 ~	三井実	北陸先端科学技術大学院大学
13:00~ 13:20	超広帯域マイクロホン	菅野靖彦	三研マイクロホン(株)

PP6 ハイレゾリューション・オーディオ 2 座長 蘆原郁

時間	タイトル	発表者	所属
13:25~ 13:45	超音波領域の音を含む波の再生音が人間の生理・心理に及ぼす影響	小川通範	日本大学
13:45~ 14:05	ハイパーソニック・エフェクトの生理学	大橋力	ATR 人間情報科学研究所 国際科学振興財団
14:05~ 14:25	音楽に含まれる超高域成分が聴感に与える影響	西口敏行	日本放送協会

PP7心理音響 座長 西村明

時間	タイトル	発表者	所属
14:35~ 14:55	若年層と高齢層における ISO2969を基準とする映画音響の受聴レベル差について	高木創	(株)東京テレビセンター
14:55~ 15:15	音楽再生時における物理的歪と音色の好みの関係	石川俊行	信州大学
15:15~ 15:35	カーオーディオイコライザにおける音色補償法に関する考察	小澤賢司	山梨大学大学院
15:35~ 15:55	広さ感の客観評価尺度に基づく音場制御手法	太田佳樹	パイオニア(株)
15:55~ 16:15	仮想音響時空間共有のための音場表現語に基づく音場知覚の心理尺度による評価	宮崎香	福岡工業大学

7月9日(水)

会場 1号館

PP

PP8收音再生1 座長 岩城正和

時間	タイトル	発表者	所属
9:00~ 9:20	Geometrical Stiffness of Loudspeaker Cones	Peter Larsen	LOUDSOFT
9:20~ 9:40	Assessing Large Signal Performance of Transducers	Wolfgang K.Lippel	K.Lippel GmbH
9:40~ 10:00	ヘッドフォンの設計目標周波数特性について	梶川嘉延	関西大学
10:00~ 10:20	小型音響機器設計支援システムの構築	梶原誠	関西大学
10:20~ 10:40	実耳,人工耳,HATSによるヘッドホン,イヤホンの周波数特性の計測	山田顯彦	電気通信大学

PP9收音再生2 座長 小谷野進司

時間	タイトル	発表者	所属
10:45~ 11:05	高分子圧電バイモルフタックスピーカの音場特性について	松下香緒里	芝浦工業大学
11:05~ 11:25	エレクトレット・コンデンサマイクロホン用振動膜の特性	道下学	芝浦工業大学
11:25~ 11:45	Testing Challenges in Personal Computer Audio Devices	Wayne Jones	Audio Precision, Inc.
11:45~ 12:05	広受聴域ステレオ再生アレースピーカシステム	西川清	金沢大学

PP10デジタル信号処理 座長 三好正人

時間	タイトル	発表者	所属
13:00~ 13:20	小型スピーカのための疑似低音再生方式の検討	加藤直行	松下電器産業(株)
13:20~ 13:40	複雑な伝達関数を持つフィルタ・ブロックの設計方法	大貫昭則	アキュフェーズ(株)
13:40~ 14:00	トレリス符号化変調を用いた音楽用電子透かし手法	高橋晃	東北大学電気通信研究所
14:00~ 14:20	SCANNED SYNTHESISのための身体動作コントロール	長嶋洋一	静岡文化芸術大学 /ASL

PP11伝送ネットワークング 座長 瀬戸川俊明

時間	タイトル	発表者	所属
14:30~ 14:50	高齢者にやさしい放送サービス ~放送番組音声の背景音レベルと聞きやすさについて~	大塚宏朗	日本放送協会
14:50~ 15:10	番組ファイル配信	青木滋	株 エフエム 東京
15:10~ 15:30	OPiLINKによる1ビットオーディオ伝送	溝口隆敏	シャープ(株)
15:30~ 15:50	音響設備デジタルネットワークにおけるmLAN®の応用 :ヤマハホール	藤森潤一	ヤマハ(株)
15:50~ 16:10	光ディスクを用いたアーカイバルサーバの動作解析	上野貴明	帝京平成大学
16:10~ 16:20	クロージングセッション	小谷野進司	

AES東京コンベンション2003オープニングセッション
 開会の挨拶、来賓の挨拶、AES日本支部アワード授賞式ほかを予定
 入場料：無料 日時：7月7日(月) 10:00~ 10:30 会場：サイエンスホール

パンケット 日時：7月7日(月) 18:30~ 20:30 会場：当日受付にてご案内致します 料金：7,000円
若手・学生エンジニアのためのサウンドアワード 日時：7月9日(水) 9:00~ 9:55 会場：1号館
 応募資格：学生(大学、専門学校)あるいは20歳以下の社会人
 応募形態：ステレオあるいは5.1サラウンドの録音作品。詳細は事務局まで

AESテクニカルツアー：「新国立劇場の音響設備および舞台設備の見学」
 日時：7月7日(月) 午前11時から 会場：新国立劇内 **テクニカルツアーの参加費は、[無料]に変更されました。**
 料金：~~学生1,000円、AES会員2,000円、一般3,000円(当日会場にてお支払い願います。)~~
 *参加は事前登録制(先着30名)です。参加希望の方は、申込葉書の所定欄にご記入の上、ご返送ください。先着30名様に、参加申込受け済みのお知らせをメールかファックスにてお送りいたします。

プログラム内容は、予告無く変更する場合があります。